地域ノ分界明カナラサルモノ少カラス、或ハ又權利カ轉々讓渡セラレ自然關係複雜ヲ極ムルモノモ多ク、之カ整理ハ非常ノ難事テアツタ此ノ整理事業カ兎モ角一段落ヲ告クルト共ニ一九一九年二月新ニ時代ニ適應シタ鑛業法ヲ制定シ佛曆二四六一年（一九一八―一九）鑛業法トシテ公布セラレタ、之レカ卽チ現行法テアルカ、其ノ施行區域ハ左ノ通リ定メラレテ居ル

一、プケツト州　州內各縣
二、ナコンシリタマラート州　同上
三、パタニー州　同上
四、スラート州　同上
五、ラチヤブリ州　同上

六、チヤンタブリ州	州內各縣
七、プラチン州	同上
八、ナコンラヂヤシマ州	州內ノ鐵道線路ニ沿ハサル縣ヲ除ク
九、ナコンサワン州	同上
十、ピサヌローク州	同上
十一、アユチヤ州	同上
十二、マハーラート州	同上
十三、パヤツプ州	同上

第三節　鑛業權

佛曆二四六一年鑛業法ノ規定スル鑛業權ハ探鑛權（試掘權）及ヒ採掘權ノ二種テアル

探鑛權ニ二種有リ、一ハ普通探鑛權ト稱セラルヘク、卽チ一定ノ地域内ニ於テ特許證面ニ特定セル鑛物ノ探査ヲナシ得ル權利ニシテ鑛業法第四章ノ規定ニ基キ許可セラルルモノテアル、他ハ獨占探鑛權卽チ一定ノ地域内ニ於テ獨占的ニ鑛物ノ探査ヲナシ得ル權利ニシテ、鑛業法第五章ノ規定ニ基キ附與セラルルモノテアル、何レモ有效期間ハ一ケ年トシ必要ト認メラルル場合之レカ更新ヲ許サレル、又特許證書ノ特定スル地域内ニ於テ特定鑛物ノ探査作業ヲ爲スコト竝ニ權利ノ讓渡ヲ許サレサルコト（權利者ノ使用人カ作業ニ從事スルハ

權利者自身ノ作業ト看做サル）等ハ兩者間同樣テアルカ、其ノ重要ナル差違ハ後者ハ特定地域内ニ於ケル採鑛作業ヲ獨占スルモノナルニ反シ、前者ハ然ラサル點ニ存スル、從テ前者ノ特許地域ハ全縣内又ハ一郡乃至數郡ノ廣キニ及ヒ得ルニ反シ後者ノ地域ハ比較的狹少ニ限定セラレ（三千味以内トス）從テ其ノ境界ノ劃定ニ關シテモ特別ノ規定カ設ケラレテ居ル、又後者ニアリテハ其ノ性質ノ獨占的ナル當然ノ結果トシテ權利者カ特許期間内六ケ月以上引續キテ採鑛作業ヲ怠ルトキハ其ノ權利ハ取消サレ得ルモノテアル、又獨占採鑛ヲナス地域ニ對シテハ一年間二十味毎ニ一錢宛ノ借地料ヲ納付スルノ義務カアル

採掘權

採掘權ハ特許證書ノ特定スル地域內ニ於テ特定鑛物ヲ採取シ且ツ之ヲ處理又ハ販賣スルコトヲ得ル權利テアル、元ヨリ各種鑛業權中最モ重要ナルモノテアルカラ、之レカ許要又ハ行使等ニ關シテハ現行鑛業法第六章乃至第九章ニ於テ頗ル詳密且ツ嚴格ナル規定ヲ設ケテ居ル、其ノ內特ニ重要ト認メラルル諸點ヲ摘記スレハ

(一)出願者カ果シテ事業經營ニ必要ナル資力ヲ具備スルヤ否ヤニ關シ豫メ調査スルコトアルヘキコト

(二)鑛區一件ノ面積ハ特別ノ勅許アル場合ノ外(イ)鑛脈ニ付テハ百味(ロ)沖積鑛床又ハ鐵鑛ニ付テハ三百味ヲ超過スルヲ得サルコト

(三)採掘特許證ハ國王ノ裁可ヲ經タル上主管大臣之ニ署名捺印スルヲ要スルコト

(四)採掘權ノ期限ハ二十五ケ年ヲ超ユルヲ得サルコト

(五)權利者ハ毎月當該鑛區ノ產額、作業日數、使用勞働者數等ニ關シ監督官廳ニ報告スルヲ要スルコト

(六)權利者ハ特許證書ノ記載スル數ヲ下ラサル勞働者ヲ使役シテ現實ニ作業ヲ行フヲ要スルコト

(七)監督官廳ノ書面許可ヲ得ルニアラサレハ一年間六ケ月以上又ハ二年間十二ケ月以上作業ヲ休止スル　ヲ得サルコト、尤モ監督官廳ハ正當ノ理由アリト認ムルトキハ三ケ年ヲ超過セサル期間作業休止ヲ許可スルヲ得ルコト

(八)權利者ハ邊羅國內ニ住所ヲ有スルヲ要スルコト（此點探鑛權者モ同樣ナリ）

(九)採掘權ノ讓渡ハ國王ノ裁可ヲ經テ主管大臣ノ署名認證アルニアラサレハ無效ナルコト

(十)權利者死亡シタルトキハ九十日ヲ經テ該權利ハ効力ヲ失フコト、但シ死後九十日以內ニ繼承申告アルトキハ政府ハ其ノ認定ニ依リ該權利ノ繼承ヲ認許スルヲ得ルコト

(十一)採掘特許證書ハ之ヲ質入シ又ハ債務ノ擔保ニ供スルヲ得ス、又之ヲ以テ債務ノ辨償ニ充當シ若クハ之ヲ差押フルヲ得サルコト

(十二)採掘權者ハ特許地域ニ對シ毎年借地料ヲ納付スルノ義務アルコト

(現行借地料ハ一昧ニ付一年一錢五十士丹トス)」

等テアル、其ノ他ニモ尙ホ種々重要ナル規定カアル、詳細ハ附錄鑛業法譯文ニ就キテ見ルヲ要ス

尚ホ鑛物採取ヲナス權利ノ一種トシテ鑛物洗滌權カアル、之レハ現行鑛業法第三章ノ規定スル所テアツテ、空地ニ於テ簡單ナル洗滌作業ニ依リ鑛物ヲ採集スル權利テアル、卽チ鑛區トシテ特定セラルル地域內ニ於テ獨占的鑛物ヲ採集スルノ權利ニハアラスシテ政府ノ指定セル地方ニ於テ隨所隨意ニ何人ニテモ採集ヲ行フコトヲ得ルモノテアル、例ヘハ農民カ農閑期ニ附近河川ニ於テ砂金採集ヲ爲スカ如キハ之ニ屬スル、又錫鑛業地方ニ於テ此ノ權利ニ依リテ錫鑛ヲ拾フモノモアル、從テ許可證帶有者自身作業ニ從フヲ要シ、此權利ハ他人ニ讓渡スルコトヲ許サレヌ、使用人ニスラ通用出來ヌモノテアル尚ホ鑛物採掘ヲナス地域ニ對シテハ一味ニ付一年一錱五十仙宛ノ借料ヲ納付スルノ義務カアル

第四節　鑛業政策一班

暹羅ニ於テハ各種産業ノ發達ハ未タ極メテ幼稚テアル、政府ハ國内各種ノ制度乃至法規ノ整備ニ先ツ當面ノ努力ヲ傾注シテ居ル時代テアッテ國内各種産業ノ積極的開發ニ向ッテ多クノ努力ヲ拂フノ餘裕未タ之無キ有様テアルト見受ケラレル、當國ノ四大産業タル農、林漁、鑛ノ各業ニ就テ見ルニ、國家經濟ノ基本ト稱セラレテ居ル米作ヲ目的トスル灌漑工事カ相當地方的ニ進捗シテ居ル以外ニハ余リ見ルヘキモノカ無イ、米作農民ノ金融ヲ圓滑ニスル目的ヲ以テ信用組合制度ノ創設セラレタルアルモ、之レカ利用ハ未タ極メテ遺憾多キ程度テアル、アレ程重要視セラレテ居ル米作ニ關シテモ未タ見ルニ足ル試驗場ノ一ツスラ無イ有様テアル、況ンヤ其ノ他ノ耕作業ニ對

シテハ何等ノ指導策モ執ラス全然放任ノ儘テアル、漁業モ亦同樣テアル、更ラニ一層ノ組織的經營ヲ要スルチーク林業及ヒ錫鑛業ニアリテハ之レカ開發ハ多年ノ惰勢ニ依リテ一ニ外國人ノ手中ニ掌握セラレ政府自ラ進ンテ何等開發助成ニ努力ノ跡カ見ラレナイ、只現有チーク林ノ如キ其ノ生命ニ限リアリ、百年ノ長年月ヲ經過スルニアラサレハ新ニ伐採シ得ヘキ立木ヲ得ルコト能ハサルモノニ付近年漸ク伐採ノ制限ヲ設ケタ位ノコトテアル

鑛業ニアリテハ現在錫採掘ノ外ニハ小規模ノ寶石採掘カ行ハレテ居ルニ過キスノテアルカ、此ノ内暹羅人カ若干關係シテ居ルモノハ極小規模ノ寶石採掘アルノミテ、現在ノ錫鑛業ニシテモ又タ各地ニ埋藏シテ今後ノ開發ヲ待テ居ル種々ノ鑛物ニシテモ遠キ將來ハ兎ニ角

トシテ今ノトコロ外國人ノ投資經營ニ俟ツノ外ナキ實情テアル、果シテ然ラハ政府當局ノ鑛政々策ノ基礎觀念ハ外資ノ輸入、經驗アル外國人ノ企業歡迎ニアラネハナラヌ筈テアル、此ノ點ニ關シ政府今日ノ施設ハ何ヲ語ツテ居ルカ、又各種鑛業權ノ附與ニ關シ內外人ノ間ニ又ハ外國人相互ノ間ニ何等區別ヲナセル點ハナイテアラムカ、コレハ切實ナル檢討ヲ要スル重要點テアラウ、殊ニ又現在ノ顧問政治乃至外國政府トノ財政關係ナトニ由來シテ、一種政治的意味合ニ於テ外的意思カ邏羅政府ノ鑛業政策ノ上ニ作用反映スルカ如キ事實ハ果シテ無イテアラウカ、

農務省鑛山地質局ハ昭和三年四月頃ニ至リテ從來錫鑛業權濫許ノ結果鑛業權カスペキユレーションノ手段ニ供セラレ、其ノ弊害夥シキ

モノアルニ氣付イテ、以後試掘許可ヲナス場合ニハ、出願者ノ資本及信用關係ヲ十分厳査シ殊ニ責際目ラ採掘ヲ營ムノ目的ヲ有セサルモノヲ振ヒ落シテ許可件數ヲ減スヘシトノ意向ヲ持ツニ至ツタ、然ルニ此ノ鑛政當局ノ内部的方針カ外部ニ洩レテ政府カ將來鑛業權附與ヲ極端ニ制限スルコトトシタトイフ誤解憶測カ流布セラレタカ故ニ鑛山地質局ハ政府ノ方針ハ鑛業權カ投機ノ手段ニ供セラルルヲ避クル爲メ出願者ノ資格ヲ厳査スルニ止マリ、資力信用ノ十分ナルモノニ對シテハ何等鑛業權附與ヲ制限セントスルモノニ非スト云フ意味ノ辨明書ヲ出シタノデアル、此ノ經緯ハ一見頗ル平凡ニ見ユルコトデハアルカ、當時南部邏羅ニ於テ錫鑛業ニ從事スル白人會社（主トシテ英人系）ニ依リテ其ノ頃俄カニ組織セラレタ邏羅鑛業會議所

ナルモノカ（奇態ナル事實ハ此邊鑛業會議所ノ本体ハ英領彼南ニアルノテアル）白人系同業者團ノ既得利益擁護ニ努力シ、彼等ノ同國人タル鑛業取扱部内ノ有力ナル顧問等ヲ通シテ（農務土地省、商務交通省及大藏省ニハ同レモ英人ノ最高顧問カアル）一種排他的策動ヲナシツツアリト云フモノモアルヲ聞クコトニ想到スレハ、鑛業權附與ニ關シテハ政治的ニ手加減カ加ヘラルルカ如キコトノ絶無ヲ誰レカ保證シ得ルテアラウカ

更ニ最近ニ至ツテハ昭和五年八月銅市價ノ下落ニ因ル富業者ノ困難ヲ救濟スルヲ名トシテ新タナル鑛業權ノ附與ハ冨分之ヲ中止スルノ趣旨ノ規定カ發布セラレタノテアル、此ノ規定ノ内容ニ關シテハ第二章ニ詳細ヲ掲ケテ直イタ通リテアツテ、其ノ目的トスル所ハ、試

掘權及ヒ採掘權ノ新ナル許可申請ハ採掘權ニ關スル重要ナラサル特殊ナル、二、三ノ場合ヲ除クノ外、富分ノ内一切之ヲ受理セス、即チ新ニ鋫ノ採掘業ヲ興サントスルモノヲ抑ヘテ以テ錫ノ生産ヲ制限セントスルニ在リト稱セラレテ居ル、乍併經濟的ニ日下ノ錫鑛業ノ地位ヲ考察スレハ現在ノ如キ錫ノ低市價ヲ以テシテハ着手ノ富初多額ノ固定投資ヲ必要トスル鋫事業ノ如キモノカ採算ヲ度外視シテ企テラレ得ヘキモノテハナイ、從テ新規申請ノ不受理ヲ殊更ニ成文規定トシテ發布セストモ、申請件數ハ自然ニ減少スヘキコト明カテアル、假ニ採算ヲ度外視シテ今日此際新ニ事業ヲ發企シ、目ラ難地ニ陷ル無謀ナル少數者アリトシテモ、夫レハ決シテ錫市場ノ大勢ヲ動カスニ足ル程度ノ勢力テアリ得ル筈ハ無イ、殊ニ通維ノ錫鑛業ハ世

界ノ錫市場ヲ獨占スルモノテハナイノテアルカラ、暹羅カ將來ノ錫生産額ヲ制限スルノ措置ヲ採ツテモ、夫レカ果シテ何レ丈ケ世界ノ錫市價ノ維持回復ニ貢獻シ得ルテアラウカ、假ニ相當ノ效果アリトスルモ、暹羅ハ自己ノ犧牲ニ依リテ、暹羅ヨリモ一層重要ナル他ノ錫産國ヲ救濟スルノ結果トナルノテアル、斯ル事情ナルニ拘ラス强テ今回此ノ規定ヲ設ケタル所以ノ動機ハ、寧ロ或ル政治的ナ出發點カラ來タモノテアツテ、卽チ既ニ英國人カ十分ナル地歩ヲ築イテ居ル暹羅領馬來半島ノ錫鑛業界ニ今後新ニ投資ヲ企ツルモノノ入リ來ルコトヲ、今ニシテ阻止セントスル底意ノ那邊ニカ動ケルモノアルコトヲ疑フノ餘地果シテ絕無テアラウカ、加之曩ニモ述ヘタ通リ鑛山ノ讓渡手數料ヲ著シク增徵スルコトトシタコトノ如キハ果シテ何

物ヲ意味スルノテアルカ、斯ノ如ク見來ラハ該規定ニ所謂「當分」トハ如何ナル程度ノ期間トナルカ、半永久的ナモノトナルカ如キコトナクンハ幸テアル、錫鑛業ノ如キ國内最重要ノ產業ニ關シテ政府ノ方針カ兎角外的勢力ノ掣肘ヲ受クルノ餘儀ナキ事情アリトセハ他ノ鑛業ニシテ將來ノ開發ヲ俟チツツアルモノニ關シテモ、自然同樣ナ事情カ考ヘラレ得ルノテアル、暹羅政府トシテハ差當リ鑛山開發ニ關シテ消極方針ヲ持シ、僅カニ現狀ヲ維持シテ將來(夫レハ可ナリ遠イ先ノコトテハアラウカ)自國人ノ資本ニ依リテ開發シ得ル時機ノ到來スル迄、地下埋藏鑛物ヲ保留セントスル意向モ有リ得ルコトテアラウ、現ニ今回ノ制限令中ニハ單ニ錫ノミナラス一切ノ鑛物ヲ含ンテ居ルコトテアル、若シ今回ノ制限令カ單獨ニ錫鑛業目下ノ悲

境ヲ救フコトノミヲ目的トスルモノナラハ、假令現在錫鑛業カ邏羅唯一ノ鑛業テハアルトシテモ、法規トシテハ各種鑛物全般ヲ包含セシメスシテ、單ニ錫ノミニ關スル制限規定トシテ發布スルコト何ノ不可ナル理由カアラウカ、該制限令發布ニ當リテ盤谷ノ各英字新聞紙ハ一様ニ論評ヲ掲ケタカ錫鑛業ノ現下ノ苦境救濟トイフコトヨリモ、埋藏鑛物ヲ――夫レハ一旦發掘スレハ再ヒ之ヲ補充スルコトノ不可能ナル――將來ニ保留スルトイフ意味ニ於テ政府ノ措置ニ贊辭ヲ送ツタモノテアツタ、

第五節　外國人ト鑛業權

現行ノ佛曆二四六一年鑛業法ニ於テハ鑛業權ニ關シテ何等内外人ヲ

區別シテ居ナイ、故ニ法規ノ關スル限リ、外國人ノ還羅ニ於ケル鑛業權享有ハ條約ノ規定ニ依テ律セラレルノテアル、諸外國人カ還羅國內ニ於テ治外法權ヲ有シテ居タ當時ニアリテハ、其ノ財產權ノ取得、住居旅行ノ自由等ニ關シ種々ノ制限ヲ受ケタノテアル、然ルニ還羅ト各國トノ間ニ於ケル不平等條約カ改訂セラレ治外法權ノ撤廢ト同時ニ諸外國人ハ還羅ニ於テ各種財產權ノ取得ニ關シテ國民待遇又ハ最惠國民待遇ヲ受クルコトトナツタ、日還通商條約ヲ見ルニ其ノ第一條第六項ニ於テ「兩締盟國ノ一方ノ臣民ハ產業從事生業及ヒ職業ニ關スル一切ノ事項ニ付竝ニ各種ノ財產權ノ取得占有及ヒ處分ニ關シ他ノ一方ノ領域及ヒ屬地ノ全域ニ亙リ最惠國ノ臣民又ハ人民ト一切ノ關係ニ於テ同一ノ地步ニ置カルヘシ」ト規定シテ居ル、卽チ

一切ノ產業（勿論鑛業ヲモ含ムト解セラル）ニ關シテ最惠國民待遇ヲ保障シタモノテアル、然ルニ英暹通商條約第五條ハ一層明確ニ鑛業權ニ關シテ國民待遇及最惠國民待遇ヲ規定シ居ル、卽チ曰ク

暹羅國內ニ於ケル林產業及ヒ鑛物ノ探査（石油ヲ含ム）竝ニ鑛物採掘業ニ關シテハ英國々籍人竝ニ英國皇帝ノ領土內ニ於テ設立セラレタル株式會社、合資會社及ヒ組合ハ暹羅國臣民又ハ他ノ外國ノ臣民又ハ人民ニ賦與セラレ居ル又ハ今後賦與セラルヘキモノヨリ不利益ナラサル待遇ヲ享受スルノ權利ヲ有スヘシ

此ノ規定カ頗ル明確ニ指示セルカ如クニ、今日英國人ハ暹羅ニ於ケル鑛業權ノ享有ニ關シテ、全然暹羅國民ト同一ノ地步ニ置カレ、事實英國人ノ多數カ錫鑛業權ヲ獲得シテ居ルノテアル、日本人ノ如キ

モ亦日暹條約ノ最惠國條款ノ效力ニ依リテ鑛業權取得ニ均霑シ得ルノ權利ヲ有スルコトハ勿論テアル

第四章　鑛業稅

第一節

暹羅ニ於テ錫ニ關シテ統制アル課稅ヲ創始シタノハ一九〇〇年ノコトテアル、而シテ錫ノ採掘ヲ行ハレタノハ半島地方ニノミ限ツテ居タカラ、此ノ一九〇〇年ノ稅率法規ハ當初該地方ニノミ施行セラレタ、其レカ全國ニ亘ツテ施行セラルルコトニナツタノハ一九二二年以後ノコトテアル

錫鑛業税ハ採掘權者カ採掘シタル錫鑛ノ純分量ニ應シ、英領海峽殖民地ニ於ケル錫市價ヲ基準トシテ作成セラレタル税率表ニ基キ徴收セラル、其ノ負擔ハ大体最低從價一割カラ累進シテ錫價一擔百八十鎊前後テ一割五分見當、二百十五鎊テ二割ニ達シ、二百五十鎊テ二割五分ニ及フノテアル

課税採鑛量ハ法定純分率ニ依リテ錫含有純量ヲ算出シ、之ヲ以テ課税負擔量ト看做スモノテアル、此法定純分率ハ從前七十パーセントト規定セラレテ居タカ、（ナコンシリタマラート州産ノモノハ六十五パーセントト定メラレ一九二〇年八月七十パーセントニ改メラル）一九二二年五月十八日附農務省告示ヲ以テ同年七月一日以後七十二パーセントニ改正セラレタ、又課税基準タル錫市價ハ最初海峽殖民

叻弗ヲ以テ表示セラレテ居タカ、徴稅上ノ計算ニ不便多キ爲メ一九（四年一月以來暹羅貨（銖）ヲ以テ市價ヲ表示スルコトニ改メラレタ、卽チ當時制定ニ係ル稅率ハ卽チ現行稅率ノ一部（錫市價八十銖乃至百八十一銖ノ場合）テアッテ左ノ如シ

一九〇四年告示附屬錫稅率表

海峽殖民地ニ於ケル錫市價 一擔當リ 自	至	稅率 一擔當リ	海峽殖民地ニ於ケル錫市價 一擔當リ 自	至	稅率 一擔當リ
錢	仙	錢 仙	錢	仙	錢 仙
80	81	8.10	115	116	11.60
81	82	8.20	116	117	11.70
82	83	8.30	117	118	11.85
83	84	8.40	118	119	12.00
84	85	8.50	119	120	12.15
85	86	8.60	120	121	12.35
86	87	8.70	121	122	12.50
87	88	8.80	122	123	12.65
88	89	8.90	123	124	12.80
89	90	9.00	124	125	13.00
90	91	9.10	125	126	13.15
91	92	9.20	126	127	13.30
92	93	9.30	127	128	13.50
93	94	9.40	128	129	13.65
94	95	9.50	129	130	13.80
95	96	9.60	130	131	14.00
96	97	9.70	131	132	14.15
97	98	9.80	132	133	14.30
98	99	9.90	133	134	14.50
99	100	10.00	134	135	14.70
100	101	10.10	135	136	14.90
101	102	10.20	136	137	15.15
102	103	10.30	137	138	15.35
103	104	10.40	138	139	15.55
104	105	10.50	139	140	15.80
105	106	10.60	140	141	16.00
106	107	10.70	141	142	16.20
107	108	10.80	142	143	16.45
108	109	10.90	143	144	16.65
109	110	11.00	144	145	16.90
110	111	11.10	145	146	17.10
111	112	11.20	146	147	17.35
112	113	11.30	147	148	17.55
113	114	11.40	148	149	17.80
114	115	11.50	149	150	18.00

150	151	18.25	166	167	22.70
151	152	18.50	167	168	23.00
152	153	18.80	168	169	23.35
153	154	19.05	169	170	23.70
154	155	19.35	170	171	24.05
155	156	19.60	171	172	24.40
156	157	19.90	172	173	24.75
157	158	20.15	173	174	25.10
158	159	20.45	174	175	25.45
159	160	20.70	175	176	25.80
160	161	21.00	176	177	26.15
161	162	21.25	177	178	26.50
162	163	21.35	178	179	26.85
163	164	21.80	179	180	27.20
164	165	22.10	180	181	27.55
165	166	22.40			

oooooooooooooooooo

右税率表ハ一九〇四年四月一日ヨリ（但シプケット州ハ一九〇七年四月一日）施行セラレタノテアルカ、其後錫市價ハ漸次高騰シ來ツタ爲メ一九一七年ニ二回、一九一八年ニ一回農務大臣告示ヲ以テ税率表ノ補追ヲ行ツタ、卽チ左ノ如シ

一九一七年告示附屬錫稅率表

海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率	海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率
一擔ニ付キ		一擔ニ付	一擔ニ付キ		一擔ニ付
自	至		自	至	
銖	仙	銖 仙	銖	仙	銖 仙
181	182	27.95	201	202	36.55
182	183	28.35	202	203	37.05
183	184	28.75	203	204	37.55
184	185	29.15	204	205	38.05
185	186	29.55	205	206	38.55
186	187	29.95	206	207	39.05
187	188	30.55	207	208	39.55
188	189	30.75	208	209	40.05
189	190	31.15	209	210	40.55
190	191	31.55	210	211	41.05
191	192	32.00	211	212	41.55
192	193	32.45	212	213	42.10
193	194	33.90	213	214	42.65
194	195	35.55	214	215	43.20
195	196	33.80	215	216	43.75
196	197	34.25	216	217	44.30
197	198	34.70	217	218	44.85
198	199	35.15	218	219	45.40
199	200	35.60	219	220	45.95
200	201	36.05	220	221	46.50

oooooooooooooooooooo

一九一七年告示附屬錫稅率表

海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率	海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率
一擔ニ付キ		一擔ニ付	一擔ニ付キ		一擔ニ付
自	至		自	至	
銖	仙	銖 仙	銖	仙	銖 仙
221	222	40.05	236	237	55.30
222	223	47.60	237	238	55.85
223	224	48.15	238	239	56.40
224	225	48.70	239	240	56.95
225	226	49.25	240	241	57.50
226	227	49.80	241	242	58.05
227	228	50.35	242	243	58.60
228	229	50.90	243	244	59.15
229	230	51.45	244	245	59.70
230	231	52.00	245	246	60.25
231	232	52.55	246	247	60.80
232	233	53.10	247	248	61.35
233	234	53.65	248	249	61.90
234	235	54.20	249	250	62.45
235	236	54.75	250	251	63.00

oooooooooooooooooooo

一九一八年告示附屬錫稅率表

海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率	海峽殖民地ニ於ケル錫市價		稅率
一擔ニ付キ		一擔ニ付	一擔ニ付キ		一擔ニ付
自	至		自	至	
銖	仙	銖 仙	銖	仙	銖 仙
251	252	63.00	277	278	69.50
252	253	63.25	278	279	69.75
253	254	63.50	279	280	70.00
254	255	63.75	280	281	70.25
255	256	64.00	281	282	70.50
256	257	64.25	282	283	70.75
257	258	64.50	283	284	71.00
258	259	64.75	284	285	71.25
259	260	65.00	285	286	71.50
260	261	65.25	286	287	71.75
261	262	65.50	287	288	72.00
262	263	65.75	288	289	72.25
263	264	66.00	289	290	72.50
264	265	66.25	290	291	72.75
265	266	66.50	291	292	73.00
266	267	66.75	292	293	73.25
267	268	67.00	293	294	73.50
268	269	67.25	294	295	73.75
269	270	67.50	295	296	74.00
270	271	67.75	296	297	74.25
271	272	68.00	297	298	74.50
272	273	68.25	298	299	74.75
273	274	68.50	299	300	75.00
274	275	68.75	300	-	-
275	276	69.00			
276	277	69.25			

oooooooooooooooo

然ルニ以上ノ税率ハ錫市價カ八十錱以上ノ場合ノミヲ規定シテ居ルノテアルカ、市價カ八十錱以下トナツタ場合ニ關シテハ、一九二二年三月二十三日附告示ヲ以テ其ノ税率ヲ從價一割（市價ノ錱位未滿ノ分ハ錱ニ切上ケ）ト定メタノテアル、尙從前半島地方ノミニ施行セラレタ税率規定ヲ全國ニ及ホシタノハ此ノ一九二二年ノ告示ニ據ツタモノテアル、

第二節　錫以外ノ鑛物ニ係ル鑛業税

(一)鉛鑛業税

一九一一年二月十日附農務大臣告示ヲ以テ創メテ規定セラレタモノテ左ノ税率ヲ課シテ居ル

一、鉛鑛　一米噸ニ付　一錱

二、鉛地金　一米噸ニ付　一銖五十仙

三、若シ鑛鑛一米噸中百五十互以上、又鑛地金一米噸中二百互以上ノ各銀分ヲ含有スル場合ハ銀分二十五互ニ付十仙ヲ追課ス

(二)亞鉛鑛業税

一九一一年十二月十八日附農務大臣告示ヲ以テ同日以後亞鉛一米噸ニ付キ一銖ノ税率ヲ課スルコトトナツタ

(三)ウルフラム鑛業税

一九一二年九月五日附農務大臣告示ヲ以テ本税徴收方法ヲ左ノ通リ定メ同月一日ヨリ施行スルコトトシタ

一、海峡殖民地ニ於ケルウルフラムノ市價ノ一割ヲ鑛業税トシテ徴收スルコト

二、前項ノ市價ハ在海峽殖民地暹羅領事官カ變動アル毎ニ本國政府ニ電報スル所ニ據ル

三、第一項規定ノ一割ノ稅率以外ニ錫ノ場合ニ準シ分析料ヲ徵收スルコト

(四)アンチモニー鑛業稅

一九一七年三月十四日附農務省省令ヲ以テ同日後アンチモニーニ對シ左ノ稅率ヲ課スルコトトナツタ

一、鑛解遊離セラレタルアンチモニー一擔ニ付キ二錢

二、鑛解遊離セサルアンチモニー鑛一擔ニ付一錢

(五)モリブデナイト鑛業稅

一九二〇年二月四日附農務大臣告示ヲ以テ一擔ニ付九錢ノ鑛業稅ヲ

課スルコトトナツタ

(六)寶石鑛業稅

寶石ノ採掘ハ從來鑛業法ノ適用範圍外トシテ自由ニ之ヲ行フコトカ出來タカ。一九二一年九月十三日ニ至リ農務大臣告示ヲ以テ各種寶石ノ採掘ハ凡テ佛曆二四六一年(一九一八ー一九)鑛業法及之ニ關アル省令。告示ニ依ツテ取締ルヘキ旨ヲ定メ次テ同月十六日附農務省々令ヲ以テ寶石鑛業稅ニ關スル規定ヲ公布施行シタ。其ノ要點ハ左ノ通リテアル

一。採掘許可證ヲ有シ寶石採掘ヲナスモノハ其ノ許可證面記載ノ作業從業員ノ員數ニ應シ一人毎月二十錢ノ鑛業稅ヲ前納スヘシ。右稅額ノ外作業土地ニ關スル租借料。測量手數料其ノ他

各種ノ手數料ヲ納付スルコトヲ要ス

二、作業人員ヲ增加セントスルトキハ其ノ旨鑛山監督局ニ申告シ一人當月額二十錢ノ鑛業稅ヲ追納シ之ニ對スル許可證ノ交付ヲ受ケタル後採掘作業ヲナスコトヲ得、又若シ作業人員ヲ減セントスルトキハ其ノ月中ニ鑛山監督局ニ其ノ旨申告スルヲ要ス

(七)砂金鑛業稅

砂金ニ付テハ一九二二年十二月三十日附農務省令ヲ以テ左ノ通リ規定セラレテ居ル

一、砂金採掘許可證ヲ有スルモノハ佛曆二四六一年鑛業法第三十七條ニ規定スル作業人員ニ應シ一人每月五錢ノ鑛業稅ヲ前納スヘシ、右稅額ノ外鑛業法ニ規定スル租借料、測量手數料其ノ他各

一、種ノ手數料ヲモ納付スルコトヲ要ス

二、作業從業員數ヲ增加又ハ減少セントスルトキハ月末ニ於テ其ノ旨鑛山監督局ニ申告シ其ノ人數ニ應シタル許可證ヲ受クヘシ、

但シ若シ鑛業法第三十七條規定ノ人員以外ニ減少セントスルトキハ同法第三十八條ノ規定ニ據ル許可證ノ下付ヲ受クルコトヲ要ス

右ノ如ク規定セラレテ居ルカ、鑛業法第三十七條ノ規定トハ作業人員ハ許可證面記載ノ員數ハ許可期間中必ス常備スルコトヲ要シ、機械ヲ以テ人力ニ替ヘントスルトキハ一馬力ヲ八人ニ數ヘ、又作業區域ハ一名ニ對シ二味ヲ限度トスルノ條項テアツテ又同法第三十八條ノ規定トハ人員ヲ右規定以下ニ減員スル時ハ作業區域中ノ一部停止

ヲ申告シテ殘存區域ニ對スル許可證ヲ新ニ受ケルコトヲ規定スル條項テアル

(八)石炭鑛業稅

一九二三年十二月十三日附農務省々令ヲ以テ同月十五日以後石炭一米噸ニ付キ二十五仙ノ鑛業稅ヲ課スルコトトナツタ

(九) Tangstic Acid ヲ含ム鑛物ノ鑛業稅

Tangstic Acid ヲ含ム鑛物トシテハ濠領馬來半島地方ノ錫產地ニ產出スルウルフラム、シーライトヲ主ナルモノトスルカ之等ニ關スル鑛業稅率ハタングステイツク、アシツトノ市價ノ一割トシ、而シテ市價ハ錫ノ場合ト同樣ニ新嘉坡市場ニ於ケルモノヲ標準トシテ居ル

課税方法ハ一九二四年五月十三日附農務省令ニ據レハ先ツ之等鑛石ヲ錫鑛ト看做シ錫ニ對スル所定ノ税ヲ納付セシメ後、徵税官ノ撰擇指定スル礦石ヲ鑛山地質局ニ於テ分析シ礦石中 Tangstic Acid ノ含有量四割ヲ超ユル場合ニノミタングステイツタ、アシツトニ對スル税ニ替ヘ既納ノ税額ヨリ過拂分ヲ納人ニ拂戻スコトトナツテ居ル但シ右ノ分析ハ納税人ノ請求ニ依テ之ヲナスモノテ一件ニ付キ十五錫ノ手數料ヲ納付スルコトヲ要シ、又最初ノ納税ノ日ヨリ六十日以内ニ戻税請求分析出願ノ手續ヲナスニ非サレハ其ノ權利ヲ失フニ至ルノテアル

第五章　鑛業手數料

鑛業ニ關スル手數料ハ其ノ種類カ極メテ多イ、現行ノ手數料率ハ佛曆二四六一年鑛業法第八十三條ノ規定ニ基キ二四六三年第六月三日（一九二〇年九月一）農務省令ヲ以テ制定セラレタモノデアル、其ノ種類及料金率左ノ如シ

種類	手數料	銖
一、獨占探鑛許可申請	一件	一〇、〇〇
二、探鑛許可申請	仝	一〇、〇〇
三、探鑛許可證讓渡申請	仝	一〇、〇〇
四、探鑛許可證ノ下付	仝	一〇、〇〇
五、獨占探鑛許可證ノ下付	仝	五〇、〇〇

六、採鑛許可證ノ下付	仝	四〇、〇〇
七、假採鑛許可證ノ下付	仝	一〇、〇〇
八、鑛土砂取棄許可證ノ下付	仝	一〇、〇〇
九、水路便用許可證ノ下付	仝	五、〇〇
十、鑛物洗滌許可證ノ下付	仝	五、〇〇
十一、採鑛作業ニ必要ナル家屋造營許可證又ハ鑛業法第五十一條規定ノ許可證ノ下付	仝	二、〇〇
十二、獨占採鑛ヲナス土地ノ借地料一年間、二十畝毎		一、〇〇
十三、採鑛土地借地料一年間、一畝毎		一、五〇
十四、採鑛作業ノ休止許可證下付一年毎、一畝毎		一、〇〇

十五、獨占探鑛地年ノ測量手數料、一セン毎（四十米）一、五〇

十六、採鑛地域ノ第一回測量手數料、一セン毎　一、〇〇

十七、採鑛地域ノ境界設定測量手數料、一セン毎　二、〇〇

十八、採鑛地ノ面積ニヨリ捺印料、二十味以内　一件　五、〇〇

〃　二十味以上百迄　〃　二〇、〇〇

〃　百味以上　〃　五〇、〇〇

十九、委任狀登記料　〃　五、〇〇

二十、各種文書認證手數料　〃　二、〇〇

二十一、地圖閲覧手數料　〃　二、〇〇

二十二、登記簿謄寫手數料　一冊　一、〇〇

二十三、地圖爲本下付手數料（一枚ノモノ）

地圖ノ大キサ五〇平方以下　一件　一、〇〇
仝五〇平方　以上百平方　以下　一件　二、〇〇
仝以上五〇平方　ヲ增ス毎ニ一錢ヲ增シ最高二十錢ニ達ス
二十四、文書謄本下付手數料「フルスカップ」大一頁　二、〇〇
第一頁
仝第二頁以下　毎頁　一、五〇
二十五、採鑛許可證爲ノ下付　一件　二、〇〇
二十六、獨占採鑛許可證爲ノ下付　一件　一〇、〇〇
二十七、採鑛許可證爲ノ下付　一件　二〇、〇〇
二十八、假採鑛許可證爲ノ下付　一件　五、〇〇
二十九、鑛物洗滌許可證爲ノ下付　一件　一、〇〇

三十、採鑛作業ニ必要ナル家屋造營許可證又ハ第五十一條規定ノ許可證ノ各寫ノ下付　一件　一、〇〇

三十一、水路使用許可證寫ノ下付　仝　二、〇〇

三十二、鑛滓土砂取棄許可證寫ノ下付　仝　二、〇〇

三十三、採鑛許可證譲渡許可手數料　仝　一五、〇〇

三十四、鑛區ノ紛議ニ關スル境界測量又ハ地圖作製手數料（人夫傭賃ヲ含ム）　一日　一〇、〇〇

三十五、採鑛許可申請ノ土地調査手數料　一件　五、〇〇

三十六、獨占探鑛許可申請後指定期間内ニ測量ヲナサス、境界ノ指示ヲナサス若クハ當該申請ニ關スル手續處理ヲ命セラレタルニ拘ラス之ヲナササル等申請人ノ過失ニヨリ當該申請ノ無效トナリタル場合ノ手數料ハ佛曆二四六一年鑛業法第十

九條第一項ノ規定ニ準シ許可證下付手數料ノ半額ヲ徵收ス

三十七、	諸種ノ申請書代書料	一枚　〇、二五
三十八、	申請書、委任狀ノ用紙書式	一枚　〇、一〇
三十九、	鐵標柱延長手數料	
	ブヴヅト州內	一柱　六、〇〇
	其ノ他諸州內	仝　七、〇〇

注釋

(一)第九項ノ水路使用許可證ハ一年五錢トスルモ、溝渠ヲ造リ若クハ水管ヲ埋沒スル等ノ爲メニ水路ヲ特ニ使用スルノ許可ヲ得ル場合ハ其ノ契約條項、手數料、使用期間等ハ適宜之ヲ定ム

(二)第十三項及第十四項ノ一味末滿ハ一味ト計算ス

(三)第十五項第十六項及第十七項ノ「一セン」未滿ハ一セント計算ス

(四)第三十四項ノ場合ハ申請人ニ於テ當該官吏ヲ案内シ其ノ往復旅費ヲ負擔スヘシ

第六章　鉱業經營者

暹羅ノ鑛業ハ未タ十分ノ發達ヲ見ルニ至ラス、專業的ニ經營セルモノハ錫及ヒ之ニ附隨スルウルフラムノ採掘アルニ過キス、加之半島方面ニ於ケル錫採掘會社中ニハ大規模ノモノモアルカ、之等ハ皆歐洲人又ハ支那人ノ投資經營ニ係ルモノテ、暹羅人カ之ニ關係シテ居ルモノハ全ク無キ有樣テアル、暹羅人カ鑛業ヲ營ムモノハ「チヤンタブン」州及ヒ「カンブリ」縣地方ニ於テ寶石ノ採掘ヲナスモノアルノミテアル、夫レモ小規模ノ個人經營テ大資本ヲ投シテ組織的ニ行ハレルモノトテハ無イ、數年前暹羅人ノ投資經營ニ係ル石炭採掘會社カ半島地方「バンドン」ニ設立セラレ大ニ其ノ前途ヲ期待セラレタカ幾モ無ク解散セラレタノハ當國鑛業發達ノ爲メニ惜ムヘキコ

トテアル

斯ノ如キ狀態ナレハ當國ニ於ケル鑛業會社ト言ヘハ卽チ錫鑛業會社ヲ擧ケ得ルノミテアリ、又錫鑛業會社ト云ヘハ夫レハ卽チ外國人（支那人ヲ含ム）ノ經營スルモノノミテアル、左ニ半島各地ニ於ケル錫會社ヲ揭ケテ參考ニ供ス、其資本關係其他營業ノ內容ニ關スル詳細ヲ明カニスルコトノ出來ヌノハ遺憾テアルカ、兎ニ角年產額二千數百萬錱ニ上リ、米作ヲ外ニシテ最大ノ產業タル錫鑛業カ是等外國人ノ專ラ行フ所ニ任セラレテ居ル暹羅ノ現狀ハ之ヲ何ト見ルヘキテアラウカ、而モ此間ニアリテ日本人ノ此ノ重要產業ニ手ヲ染ムルモノ今日迄一人モ之レナキ事實ニ顧ミルモ日本人カ從來海外ニ於ケル投資企業ヲ久シク閑却シ來ツタトイフコトヲ痛切ニ感セシメラレサ

ルヲ得ヌノテアル

半島地方ニ於テ浚渫機ヲ使用スル錫會社ハ左ノ如シ（二四六九年現在）

會社名	作業地	所有ドレジヤー數	佛曆二四六九年度 作業延時間	採錫量
Tongkah Barbour Tin Dredging Co. N.L.	プケツト	二	一二四九五	四三四五
Bangthao Co. N.L.	同	二	九六四九	九二六
Siamese Tin Syndicate Ltd.	ラノング	三	一九三八二	一一三四〇
Ratrut Basin Tin Dredging Co. Ltd.	同	一	六四九六	一二一九
Bangrin Tin Dredging Co. Ltd.	同	一	七二一一	四四〇〇
Ranong Tin Dredging Co. Ltd.	同	一	二五四八	五六三
East Asiatic Industry & Plantation Co. Ltd.	タクワパー	一	七〇八九	三〇〇六
Takuapa Valley Tin Dredging Co. Ltd.	同	一	七〇五七	五九一七
Siamese Tin, Syndicate Ltd.	同	一	三五三四	一五五八
Ronpibon Tin, N.L.	ナコンシリタマラート	二	一〇一四二	四五〇二

Thepha Tin Dredging Co. Ltd.	ソングクライ	〃	六六〇	一五八

尚以上ノ外主要ナル錫會社ヲ擧クレハ左ノ如シ

名稱	作業地	資本額	支配人名
Ayer Weng Development & Pros., Co.	ヤラー	十萬弗	
The Blahat Mines Co.	ペトング	十萬弗	
Eastern Siam Tin Dredging Co.,	バンナサン	不明	
Haad Yai Tin Dredging Ltd.,	バンディンラン	二十萬磅	
Hrey Yot Tin Dredging Ltd.	フエヨート	十四萬磅	
Rampeh Tin Mines, N.L.	ラムペー（トランク）	不明	
Mongkit Tin Mines	バンナサン	十萬弗	

Muang Pet Tin., Ltd	ロンピプン	五十萬弗
Muang Tin N.L.	バンナサン	十萬磅
Pangnga River Tin Concessions, Ltd.	バングガー	三十萬磅
Soon Hong Tin Mines	バンナサン	五十萬錫
Thab Sakae Tin Ltd.	タップサケー	二十五萬弗

因ニ鑛業會議所ハ一九二八年ニ創設セラレ各鑛業會社ノ利益擁護ト暹羅鑛業ノ發達促進ヲ標榜シテ居ルカ會議所ノ幹部ハ凡テ英國系（丁抹系一人アリ）ヲ以テ固メ、頗ル排他的色彩ニ富ミ、他國人ノ鑛業權獲得ニ對シ暗隱ノ邪魔ヲナスヤノ悪評ヲ聞クコトカアツタ、現在其ノ幹部ハ左ノ如シ

本部、南暹トングソン市

Siam Chamber of Mines

會頭	T. A. Miles (Ronpibon Tin, N. L.)
副會頭	T. R. Weir (Siamese Tin Syndicate, Ltd.)
理事	O. S. Dawbern (Eastern Siam Tin Dren. Co. Ltd.)
同	J. M. White (Ratrut Basin Tin Dred. Co.)
同	F. N. Cox (Huey Yot Tin Dred. Co.)
書記長	R. Peel.

附錄

佛曆二四六一年鑛業法

目次

第一章　名稱、施行期日及用語
第二章　一九〇一年鑛業法施行前有效ノ採鑛
第三章　鑛物洗滌許可出願
第四章　採鑛許可出願
第五章　獨占採鑛許可出願
第六章　採鑛許可出願
第七章　採鑛作業時間及鑛區ノ返還
第八章　採鑛許可證ノ讓渡
第九章　採鑛作業

第十章　水路
第十一章　道路
第十二章　雜則

佛曆二四六一年（一九一八ー一九）鑛業法

第一章　名稱、施行期日及用語

第一條　本法ハ佛曆二四六一年鑛業法ト稱ス

第二條　本法ハ西曆一九〇一年鑛業法ニ代リテ該法ノ現施行地域內ニ直ニ之ヲ施行シ且ツ鑛山局所管大臣カ豫メ國王ノ裁可ヲ經テ本法ヲ施行スル旨官報ニ告示スル州ニ施行スヽ鑛業ニ關スル現行ノ法令規則習慣ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三條　本法中用語ノ解釋左ノ如シ

一、鑛物洗滌許可證、鑛山局カ本法ノ規定ニ據リテ鑛物ヲ洗滌採集スル權利ヲ所持者ニ賦與スル證書ヲ云フ

二、探鑛特許證、　鑛山局カ本法ノ規定ニ據リ特定ノ郡又ハ縣ニ於テ鑛物ヲ探査スルノ權利ヲ所持者ニ賦與スル證書ヲ云フ

三、獨占探鑛特許證、　鑛山局カ本法ノ規定ニ據リ證書面記載ノ地域内ニ於テ獨占的ニ鑛物ヲ探査シ得ル權利ヲ所持者ニ賦與スル證書ヲ云フ

四、探鑛地域、　獨占探鑛特許證面ニ記載スル地域（水ヲ以テ被ハレタル場所ヲモ含ム）ヲ云フ、獨占探鑛特許證所持者ハ斯ル地域内ニ於テ探鑛シ得ル獨占的權利ヲ有ス

五、採鑛特許證、　鑛山局カ本法ニ據リ證書面記載ノ地域内ニ於テ探鑛ヲ營ム權利ヲ所持者ニ賦與スル證書ヲ謂フ

六、採鑛地域、　採鑛特許證面ニ記載スル境界内ノ地域ヲ謂

フ（水ヲ以テ被ハレタル土地ヲモ含ム）

七、鑛脈、　次ニ定義スル沖積鑛床以外ノ鑛物ヲ含有スル間層、堆積、岩脈、岩層又ハ鑛塊ヲ謂フ

八、沖積鑛床、　粗脆ナル岩、石、土砂ニシテ之ヨリ洗滌ニ依リ鑛物ヲ採取シ得ルモノヲ謂フ

九、水路、　水ノ流動スルト稱止スルトヲ問ハス又天爲、人工タルトヲ問ハス凡テノ河川、運河、溝渠、池井ヲ謂フ

十、鑛區、　鑛脈又ハ沖積鑛床カ存在シ又ハ採鑛ヲ營ム場所ヲ謂フ

十一、採鑛、　鑛物採取ノ目的ヲ以テ鑛脈又ハ沖積鑛床ヲ鑿掘スル凡テノ方法ヲ謂フ

十二、地方鑛山局、　探鑛特許證、採鑛特許證ノ下付ヲ出願スル關係土地ノ屬スル郡ニ設立セラレタル監督官廳ヲ謂フ、若シ郡內ニ該官廳ナキトキハ同縣內ノ當該官廳、同縣內ニ之レ無キトキハ該郡ノ所在スル州ノ當該官廳ヲ謂フ、若シ州ニ該官廳ナキトキハ靈谷中央鑛山局ヲ謂フ

十三、州鑛山監督官、　郡、縣又ハ州ニ駐在スル鑛山局職員ヲ謂フ、之等監督官ノ職務ハ大臣ニ於テ適當ト認ムルトキハ之ヲ州、縣農務課職員ニ委囑スルコトヲ得、又州總督ハ豫メ大臣ノ許可ヲ經テ一時鑛山事務ヲ取扱ハシムル爲メ官吏ヲ任命スルコトヲ得

十四、大臣、　鑛山局ヲ管轄スル省ノ大臣ヲ謂フ

十五、空地、　家屋建物ナク、農耕セラレス又ハ何等目的ノ爲メ私用セラレス若クハ公衆又ハ個人ノ利益ノ爲メ法規或ハ地方ノ慣習ニ依リ留保セラレサル土地ヲ謂フ

第四條　暹羅國内ニ於ケル一切ノ土地及鑛物（鑛物、石炭ヲ含ム）ハ國王ニ所屬ス、建築、農耕其ノ他ノ目的ヲ以テ土地ヲ占有スル權利ヲ取得シタルモノト雖モ明示ノ特許ヲ得ルニ非サレハ該土地ニ於テ探鑛又ハ採鑛ヲナスコトヲ得ス、本條及之ニ附屬スル規則ニ據リ政府ノ特許ヲ受クルコトナクシテ採鑛セントシタルモノハ毎犯千五百銖ヲ超エサル罰金ニ處セラルヘク且ツ政府ハ一切ノ器具、採取シタル鑛物及採鑛作業ノ目的ノ爲メニ建造セラレタル建物ハ凡テ之ヲ沒收ス

第五條　本法中「本法」又ハ「本法ニ據リ」ト謂フトキハ本法ニ關スル將來ノ修正及增補ヲ包含スヽ本法ニ關シ大臣ノ發布スル規則ニシテ現ニ施行中ノモノ及ヒ今後施行セラルヘキモノ竝ニ之等ニ對スル修正增摘モ亦「本法」ノ意味ノ中ニ含ムモノトス

第二章　一九〇一年鑛業法施行前ノ採鑛

第六條　西曆一九〇一年鑛業法施行前國王ノ特許ニ依リ取得シヽ鑛山局ニ登錄シタル鑛業權ハ其ノ滿期又ハ拋棄ニ至ル迄當該特許狀ノ記載スル條件ニ遵由シテ鑛山局之ヲ監督ス但シ特許狀記載ノ條件以外ノ事項ニ關シテハ本法ノ規定ニ準據スヘシ

第三章　鑛物洗滌許可出願

第七條　空地ニ於テ自ラ鑛物洗滌採集ヲ行ハントスルモノハ地方鑛山局ニ鑛物洗滌許可證ノ下附ヲ出願スヘシ

前項許可證ハ鑛物ノ洗滌ヲ許スヘキコトヲ公示セラレタル地方ニ於テノミ發給セラルヘシ

第八條　地方鑛山局ノ主務官ハ適當ト認メタルトキハ所定ノ手數料ヲ領收ノ上出願者ニ對シテ鑛物洗滌許可證ヲ發給ス、該許可證ハ發給ノ日ヨリ一年間許可證面記載ノ地域ニ於テ鑛物ノ洗滌採集ヲナスノ權利ヲ其ノ保持者ニ賦與スルモノトス

第九條　鑛物洗滌許可證保持者ハ該許可證記載ノ規則ヲ遵守スヘシ

若シ鑛物洗滌許可證保持者カ該許可證記載ノ規則ニ違反スルトキハ每犯二十錢以下ノ罰金ニ處シ許可證ハ之ヲ取消スヘシ

第十條　鑛物洗滌許可證保持者ハ其ノ許可證ニ據ル作業ヲナスニ當リ主務官吏ノ命令ニ違由スルコトヲ要シ、又採取シタル鑛物ニ對シテハ時々規定スル稅率ニ據リ鑛業稅ヲ納付スルコトヲ要ス

第十一條　鑛物洗滌許可證ハ其ノ名儀人限リノモノニシテ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス又其ノ保持者ノ使用人ハ之ヲ包含セス、許可證ハ當該官吏ノ請求アルトキハ其ノ檢閲ノ爲メニ之ヲ提示スルコトヲ要ス

第十二條　豫メ鑛物洗滌許可證ノ下付ヲ受ケスシテ鑛物ノ洗滌採集ヲナシタルモノハ每犯四十銖以下ノ罰金ニ處ス

第四章　探鑛許可出願

第十三條　探鑛特許證下付出願ハ政府所定ノ書式ニ依ル文書ヲ以テ

自ラ又ハ公認代理人ヨリ地方鑛山局ニ於ケル鑛山監督官ニ提出スヘシ

第十四條　探鑛特許證ハ主務官吏ノ認定ニ依リ一縣又ハ一郡若クハ一縣内數郡ニ亘ルコトヲ得、本特許證ノ保持者ハ其ノ證書面記載ノ境界内ノ地域中空地ニ於テノミ證書面記載ノ鑛物ノ探査ヲナスノ權利ヲ有ス、空地以外ノ土地ニ於テ探鑛セントスルトキハ豫メ其ノ適法占有者ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

探鑛特許證ハ發給ノ日ヨリ一ケ年間有効トス

探鑛特許證手數料ハ前納スヘシ

第十五條　探鑛特許證保持者ハ認可セラレタル探鑛方法ニヨリ又主務官吏ノ命令ニ遵ヒ、探鑛ヲナスヘシ、當該保持者ハ探鑛以外

ノ作業ヲナスノ權利ヲ有セス

探鑛特許證ノ保持者カ規則ニ違反シタルトキハ毎犯四十銖以下ノ罰金ニ處シ其ノ探鑛特許證ハ之ヲ取消スヘシ

第十六條　探鑛特許證ハ其ノ名儀人限リノモノニシテ轉用ヲ許サス

但シ該特許證保持者ノ使用人ハ之ヲ包含ス　本特許證ハ當該土地ノ鑛物含有性調査ノ爲メニスル探鑛作業以外ノ權利ヲ賦與スルモノニ非ス

第十七條　地方鑛山局ノ職員カ何時ニテモ探鑛特許證ノ檢閲ヲナサントスルトキハ該特許證保持者ハ之ヲ提示スルコトヲ要ス若シ檢閲ノ請求ヲ拒絶シ又ハ特許證面記載ノ地域外ニ於テ探鑛ヲナシ若クハ特許證ナクシテ探鑛ヲナシタルモノハ毎犯八十銖以下

ノ罰金ニ處ス

第五章　獨占探鑛許可出願

第十八條　(一)獨占探鑛特許ノ出願ハ政府所定ノ書式ニ依ル文書ヲ以テ自ラ又ハ公認代理人ヨリ地方鑛山局ニ於ケル鑛山監督官ニ出願スヘシ又右出願ノ際該特許證發給ニ要スル諸手數料ト同額ノ金錢ヲ豫メ供託スルコトヲ要ス

或ル地方ノ鑛業事務ニ關シ地方鑛山局ヨリモ中央鑛山局ニ於テ之ヲ處理スル方便利ト認ムルトキハ出願ヲ地方鑛山局ニ提出セスシテ中央鑛山局ニ提出セシムヘキ旨ノ命令ヲ大臣ニ於テ發スルコトヲ得、

(二)凡テ出願ハ出願地ニ關スル說明書竝ニ該地域ノ境界ヲ正確ニ

示シ且ツ隣接鑛區ノ境界標々位所又ハ其他ノ目標物体ニ對スル當該地域ノ關係位置ヲ正確ニ明示スヘキ地圖ヲ添付スルコトヲ要ス、

(三)獨占探鑛特許證ノ地域ハ三千㌶ヲ超ユルコトヲ得ス、又其ノ有效期間ハ發給ノ日ヨリ十二ヶ月間トス

第十九條　(一)出願ヲ審査シ不都合ナシト認ムルトキハ出願者ニ對シ區劃境界線設定作業ヲ政府ニ於テナスカ又ハ出願者自ラナスヘキカヲ示達スヘシ、若シ右ノ作業ヲ政府ニ於テナス場合ハ測量其ノ他右作業ニ關シ要シタル諸費用ハ出願者ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス、若シ右作業ヲ出願者自ラナスヘキコトヲ命セラレタル場合ハ鑛山監督官カ指定シタル期間内ニ之ヲ完了スヘシ、

右期間内ニ完了セサル時ハ出願ヲ無效トスルコトアルヘシ。

(二)獨占採鑛特許證發給前ニ出願者自ラ其ノ出願ヲ撤回シタルトキハ出願者ハ特許證手數料ノ半額及境界設定測量ニ關シ要シタル費用ヲ支拂フコトヲ要ス

第二十條　(一)獨占採鑛特許證ハ讓渡スルコトヲ得ス而シテ其ノ保持者ニ對シ採鑛特許證ト同樣ノ權利ヲ賦與ス、但シ其ノ保持者及保持者ノ使用人以外ノモノハ特許證記載ノ地域内ニ於テハ採鑛ヲナスコトヲ得ス

獨占採鑛特許證ハ既ニ他ニ採鑛ヲ許可シタル地域又ハ當該獨占採鑛特許證發給ノ日以前既ニ採鑛特許出願中ノ地域ニ於テ採鑛シ得ルノ權利ヲ賦與スルモノニ非ス

(二)獨占探鑛特許證ノ期限滿了ニ當リ該特許證所持者カ相當ノ探鑛作業ヲ了シタルコト竝ニ特許證記載ノ規則條件及本法ノ規定ヲ遵守シタルコトヲ鑛山局ニ於テ容認スル場合ニ於テハ該特許證ノ更新ヲ出願スルコトヲ得、但シ此ノ場合ノ新特許證ノ地域ハ大臣ノ特許アル場合ノ外舊特許證地域ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

特許證更新出願者ハ所定ノ手數料ヲ納付スヘシ

(三)獨占探鑛特許證ハ其ノ保持者カ引續六ケ月ノ間適當ト認メ得ル程度ノ探鑛作業ヲナササルトキハ大臣ハ其ノ許可證ノ取消ヲナスコトアルヘシ

第六章　採鑛特許出願

第二十一條　採鑛特許證ヲ受ケントスルモノハ所定ノ書式ニ依ル願書ヲ採鑛地域所在地ノ地方鑛山局ニ於ケル鑛山監督官ニ提出スベシ、或ル地方ノ鑛業事務ニ關シ地方鑛山局ヨリモ中央鑛山局ニ於テ之ヲ處理スル方便利ト認ムルトキハ出願ヲ地方鑛山局ニ提出セス中央鑛山局ニ提出セシムヘキ命令ヲ大臣ニ於テ發スルコトヲ得

採鑛特許證ノ出願ハ左ノ規則ニ據ルヘシ

(一)出願ノ際特許手數料及境界線設置作業ニ要スヘキ費用ニ相當スル金額ヲ供託スヘシ

(二)出願ハ出願地ノ地積、其ノ境界線ノ延長其ノ他出願地ノ正確ナル位置ヲ示スヘキ基準ヲ明確ニシタル地圖ヲ添付スヘシ、又願

書ニハ其ノ土地ノ説明、採鑛セントスル鑛物ノ種類及採鑛方法ノ種類ヲ記載スヘシ

(三)出願者ハ其ノ提出スル地圖其ノ他願書記載事項ノ正確ナルコトニ付責任ヲ負フコトヲ要シ若シ故意ニ虚偽ノ記載ヲナシタルトキハ採鑛特許證ハ直ニ之ヲ取消スコトアルヘク、其ノ保持者ハ特許證取消ノ日迄ノ借地料支拂ノ責任ヲ有シ、損害ヲ受カタル場合ト雖モ政府ニ對シ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス、出願者ハ單ニ手數料其ノ他ノ費用ヲ供託シタルノミニ依テ其ノ出願地域ニ關シ採鑛特許證ノ發給ヲ受クル權利ヲ得ルモノト解スヘカラス

(四)大臣ハ特許證發給前其ノ出願地域ノ採鑛作業ヲナスニ十分ナル

資力ヲ有スルコトヲ大臣ニ對シ立證セシムヘキコトヲ出願者ニ對シ命令スルコトヲ得

第二十二條　願書ヲ審査シ不都合ナシト認メタルトキハ出願者ニ對シ其ノ地域ノ境界線設定測量作業ヲ政府ニ於テスヘキカ又ハ出願者自ラ之ヲナスヘキカヲ示達スヘシ、出願者自ラ境界線設定測量作業ヲナスヘキコトヲ命セラレタルトキハ鑛山局ノ命令ニ遵ヒ之ヲ實施シ且ツ指定セラレタル期間内ニ設計圖及仕樣書ヲ提出スヘシ、本項ノ命令ニ違反スルトキハ出願ハ無効トナルコトアルヘシ

第二十三條　該地域ノ境界設定測量作業ヲ政府ニ於テナス場合ニハ出願者又ハ適法ニ指定セラレタル其ノ代理人ハ鑛山局ノ請求アル毎ニ之ニ立會ヒ地域ノ境界ヲ示スコトヲ要シ、且ツ境界設定測量

作業ノ費用ハ所定ノ率ニ應シ又其ノ他右作業ニ關シ要スヘキ費用ハ出願者之ヲ負擔スヘシ、若シ出願者カ鑛山局ヨリ地域境界ヲ示ス爲メ立會ヲ命セラレタルトキ善意ノ理由ナクシテ立會ハサル場合ニ於テハ出願ハ無効トナルコトアルヘシ

第二十四條　境界設定終了シタルトキハ所定ノ書式ニ依リ十五日間地方鑛山局又ハ他ノ適當ナル場所ニ當該地域ノ要項ヲ公示ス、當該地域ニ對シ採鑛特許證ヲ發給スルコトニ異議ヲ有スルモノハ右公示期間滿了前ニ文書ヲ以テ異議ノ理由ヲ地方鑛山局ニ提出スヘシ

第二十五條　前條公示期間內ニ何等異議ノ提出ナキトキハ恒久境界線ヲ設定ス

(一)境界線上ニ若シ到達シ得サル場所アルトキハ其ノ可及的近接個所ニ方向及巨離ヲ示ス示標ヲ建テコノ旨地圖ニ記入スルコトヲ要ス

(二)特許證保持者ハ境界標ヲ破損ナキ完全狀態ニ維持スルコトヲ要シ境界線ヲ常ニ明確ニシ置クヲ要ス

採鑛特許證滿期後ハ境界標ハ國有財産トナルヘシ

第二十六條　特許一件ノ鑛區ハ特別ノ勅許アル場合ヲ除キ

(一)鑛脈ニ對シテハ百味ヲ超スコトヲ得ス

(二)沖積鑛床又ハ鐵鑛ニ對シテハ三百味ヲ超スコトヲ得ス

第二十七條　鑛區ハ土地ノ狀況ノ容ス限リ短形トシ長サハ幅ノ三倍ヲ超スコトヲ得ス

第二十八條　(一)測量及境界標設置完了後採鑛特許證カ發給セラレサル以前ニ於テ出願者カ採鑛ヲ開始スルノ許可ヲ鑛山局ニ願出タルトキハ該地域ノ存スル州ノ總督ハ據メ大臣ノ承認ヲ得テ鑛山局ノ定ムル形式ニ依ル假採鑛許可證ヲ發給スルコトヲ得

(二)前項規定ノ假採鑛許可證ハ本條(三)項ニ規定スル制限ノ外本法ニ據リ發給スル採鑛特許證ト同樣ノ權利特典ヲ賦與シ又同樣ノ義牛

責任ヲ負擔セシムルモノトス

(三)假採鑛許可證ノ有效期間ヲ六ケ月間トシ轉用スルコトヲ許サス、且ツ收府ハ遽告スルコトナク又理由ヲ明ニスルコトヲ要セスシテ取消スコトヲ得

假採鑛許可證ノ取消ニヨリ生シタル損害ニ對シテハ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十九條　採鑛特許證ハ國王ノ裁可ヲ經タル後大臣之ニ署名シ捺印シタルニアラサレハ無效トス

第三十條　採鑛特許證手數料ハ所定ノ率ニ據リ之ヲ徵收ス

第三十一條　採鑛特許證ノ期限ハ二十五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十二條　採鑛特許地域ニ係ル借地料ハ所定ノ率ニ依リ之ヲ毎年

二期ニ分チ半額宛ヲ前納スヘシ

第三十三條　採鑛特許證書ニ特ニ記載スル場合ノ外其ノ鑛業稅ハ別ニ法律ヲ以テ定ムル率ニ據リ之ヲ徵收ス

第三十四條　採鑛特許證書ニ於テ支拂ノ場所及ヒ方法ニ關スル特別ノ記載アル場合ノ外鑛業稅ハ政府ニ於テ時々定ムル場所期日方法ニ關スル指定ニ基キ納付スヘシ

第三十五條　採鑛特許證ノ保持者ハ毎月初メ其ノ前月中ノ採掘鑛解移出シタル鑛產物ノ量、作業日數一日平均使用勞働者數ニ關スル報告ヲ地方鑛山局ニ提出スヘシ、又地方鑛山局ヨリ命令アリタルトキハ其ノ日時迄ノ地上地下ノ作業ヲ明ニ示スヘキ地圖ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ報告又ハ地圖ニ虛僞ノ記載ヲナシタルモノハ每犯千六百錢以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　採鑛特許證保持者其ノ鑛區ニ關スル報告書ヲ作成シタルトキハ其ノ都度其ノ寫ヲ地方鑛山局ニ提出スヘシ、若シ保持者カ會社タル場合ニ於テハ目論見書、會社定款、契約書ノ各寫ヲ提出スヘシ

第七章　採鑛作業時間及鑛區ノ返還

第三十七條　採鑛特許證保持者ハ其ノ鑛區ニ於テ特許證記載ノ數ヲ下ラサル勞働者ヲ以テ現實ニ作業ヲナスヘシ、若シ機械ヲ以テ勞働者ニ代ユルトキハ機械力一馬力ヲ以テ勞働者八人ニ換算ス

(一)作業ニ要スル勞働者ノ數ハ二吠毎ニ一人ヲ下ルコトヲ得ス

(二)鑛山局カ文書ヲ以テ許可シタル場合ノ外一年間六ケ月以上又ハ二ケ年ニ十二ケ月以上作業ヲ休止スルコトヲ得ス

採鑛特許證保持者カ本條ノ規定ニ違反スルトキハ毎犯行五百銖ヲ超エサル罰金ニ處シ、該特許證ハ之ヲ取消スコトヲ得

第三十八條　採鑛特許證保持者カ作業ヲナスコトヲ得サル事由アルトキハ地方鑛山局ニ其ノ中止許可ヲ願出ツルコトヲ得、該鑛山局ハ右事由カ已ムヲ得サルモノト認ムルトキハ三年ヲ超エサル

期間作業中止許可ヲ與フルコトヲ得、作業中止許可出願ニハ豫メ所定ノ手數料ヲ前納スヘシ、右手數料ハ採鑛特許證保持者カ其ノ證書面記載ノ條件ニ滿ヒ納付スヘキ借地料ト關係ナキモノトス

第三十九條　採鑛特許證保持者カ其ノ特許證ヲ政府ニ返還セント欲スルトキハ其ノ旨文書ヲ以テ地方鑛山局ニ申告スヘシ、此ノ場合當該保持者ト地方鑛山局トノ間ニ特別ノ取極メ無キ限リ採鑛特許證ハ返還申告ノ日ヨリ滿六ケ月ノ後無效タルヘシ、採鑛特許證ヲ返還シタル保持者ハ該特許證ニ關シ政府ニ支拂フヘキ諸稅ハ特許證カ無效トナル日迄ニ之ヲ完納スルコトヲ要ス

第四十條　採鑛特許證保持者ノ違反行爲ニ因リテ其ノ特許證カ本法

ニ據リ無效トナルヘキ場合ニ於テハ鑛山局ハ左記各號ノ內其ノ適當ト認ムル處置ヲ措ルコトヲ得

（イ）犯行ヲ指摘シテ採鑛特許證ヲ取消ス旨ヲ保持者ニ通告ス但シ保持者ハ九十日間ノ猶餘期間內ニ大臣ニ對シ該處分ニ付異議ヲ申立ツコトヲ得ヘシ、若シ右異議ヲ申立ツルコトナキカ又ハ大臣ニ於テ之ヲ却下スルトキハ該期間滿了ト共ニ特許證取消命令ハ確定ス

（ロ）特許證保持者ニ對シ其ノ違反行爲ヲ改ムヘキ命令ヲ發シ特許證保持者カ此ノ命令ヲ十分ニ遵守スルニ於テハ特許證ニ對スル取消處分ヲナササルコトヲ得

第四十一條　如何ナル理由ニ據ルヲ問ハス採鑛特許證ノ取消處分ヲ

ナシタルトキハコノ旨官報ニ告示スヘシ、右ノ告示ハ採鑛特許證ノ取消カ適法ニ了セラレタルコトヲ示シ該特許證保持者ハ特許證其他採鑛權利ニ關スル凡テノ文書類ヲ地方鑛山局ニ返納スルコトヲ要ス

第四十二條　採鑛特許證カ無效トナリタルトキハ其ノ原因カ保持者ノ違法行爲ニアルト保持者ノ任意返還ニアルト將又期間滿了ニアルトヲ問ハス凡テ左ノ規定ヲ適用スヘシ

(一)鑛區內ニ於テ特許證保持者カ建築シ買收シ又ハ持込ミタル建物、機械、器具其ノ他凡テノ物件ハ特許證無效ノ日ヨリ六月間ニ之ヲ取拂フヘシ、右期間內ニ取拂完了セサルトキハ地方鑛山局ハ願ニ依リ右期間ヲ適當ニ延長スルコトヲ得、延期間ニ取拂

ハレサル物件ハ拋棄セラレタルモノト看做サレ政府所有財産トナルヘシ

(二)採掘シタル鑛産物ハ凡テ六ケ月間以内又ハ地方鑛山局ニ於テ許容シタル期間内ニ鑛區内ヨリ搬出スルコトヲ要ス、鑛産物ノ搬出完了前ハ鑛石、土壤ハ他ノモノカ更ニ採鑛作業ヲナス際不都合ナラサル個所ニ堆積シ置クコトヲ要ス、指定期間内ニ搬出セサル鑛産物ハ政府ニ歸屬スヘシ

第八章　採鑛特許證ノ譲渡

第四十三條　採鑛特許證、採鑛特許證及獨占採鑛特許證ノ各保持者ハ邊羅國内ニ住所ヲ有シ文書又ハ示達ノ配達ヲ受クル爲メ之ヲ地方鑛山局ニ登錄スヘシ

第四十四條　採鑛特許證、採鑛特許證、獨占特許證又ハ鑛物洗滌許可證ノ保持者カ當該證書ヲ紛失シタルトキハ地方鑛山局ニ其ノ再發給ヲ願出テ所定ノ手數料納付ノ上其ノ再發給ヲ受クルコトヲ得

第四十五條　採鑛特許證ハ國王ノ裁可ヲ經テ大臣カ署名認證スルニ非サレハ讓渡ノ效力ナキモノトス、採鑛特許證保持者カ之ヲ他人ニ讓渡セントスルトキハ地方鑛山局ニ其ノ許可ヲ願出ツヘシ若シ政府ニ於テ讓渡ヲ認可スルトキハ左ノ規定ニ據リ處理スヘシ

(一)採鑛特許證保持者及其ノ讓受人ハ自ラ又ハ公認代理人ヲ以テ地方鑛山局ニ出願ノ上採鑛權利ニ關スル書類ヲ提出シテ其ノ讓渡契約書ヲ作成スヘシ、本契約書ハ三通ヲ作成シ一通ハ中央鑛山局ニ一通ハ地方鑛山局ニ保管シ他ノ一通ハ讓受人之ヲ保管ス

(二)採鑛特許證ノ原保持者ハ必要ノ手數料ヲ納付シ又未納ノ採鑛ニ關スル諸公課納金ハ特許證讓渡許可願出前ニ之ヲ全納皆濟スルヲ要ス

第四十六條　採鑛特許證保持者カ死亡シタルトキハ其ノ死亡ノ日ヨリ九十日ヲ過キルトキハ該特許證ハ無效タルヘシ、但シ左記ノ場合ヲ除ク

死亡者ノ代表者採鑛特許證ヲ繼承セントスルトキハ九十日以內ニ其ノ旨地方鑛山局ニ申告スヘシ、政府ハ差支無シト認メタルトキハ右繼承申告者又ハ其ノ指定人ニ對シ所定ノ手數料徵收ノ上採鑛特許證ノ繼承ヲ許スコトヲ得

第四十七條　豫メ鑛山局ノ許可ヲ得タル場合ノ外採鑛特許證ヲ質入シ又ハ債務ノ擔保ニ供スルコトヲ得ス、又採鑛特許證ヲ以テ債務ノ辨償ニ當ツルコト又ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第四十八條　採鑛特許證保持者カ破産シタルトキハ該特許證ハ政府ニ於テ適當ト認ムル場合ハ無效トナルヘシ

第九章　採鑛作業

第四十九條　鑛區ハ必ス專門家ヲ以テ支配セシメ、採鑛特許證保持者ハ同支配人ノ姓名ヲ地方鑛山局ニ報告シ置クコトヲ要ス

第五十條　採鑛特許證保持者ハ其ノ鑛區内ノ立木ヲ伐採スルコト

ヲ得、但シ此ノ場合森林法ノ規定ニ違フコトヲ要シ、又該立木ニ對シ權利ヲ有スルモノ他ニ有ルトキハ豫メ同人ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス、若シ立木ニ對スル權利保有者ト採鑛特許證保持者トノ間ニ立木伐採ニ關シ爭議惹起シタルトキハ採鑛特許證保持者ハ鑛山局ニ申告シ該立木强制收用ヲ願出ツルコトヲ得、鑛山局ニ於テ適當ト認ムルトキハ强制收用ヲ認メ採鑛特許證保持者ニ對シ立木伐採ヲ許可スルコトヲ得、立木ノ價格ニ關シ鑛山局ト立木ニ對スル權利保有者トノ間ニ議合ハサルトキハ裁判所ノ決定ニ遵フモノトス

第五十一條　採鑛特許證ハ其ノ鑛區ノ土地ノ權利ヲ該特許證保持者ニ賦與スルモノニ非ス、故ニ採鑛特許證保持者ハ左記事項ノ權

利ヲ享有スルニ止マル

(一)採鑛特許證保持者ハ其ノ證書面記載ノ鑛種ヲ採掘處理乃至販賣スルコトヲ得、右鑛種以外ノモノヲ採掘セントスルトキ豫メ別ニ大臣ノ特許ヲ受クルコトヲ要ス

(二)採鑛特許證保持者カ其ノ鑛區內ノ空地ニ於テ作業ニ必要ナル又ハ從業員ノ住居ノ爲メノ建物ヲ建設シ又ハ從業員ノ食用ニ供スル爲メ蔬菜ヲ栽培シ家畜ヲ飼育セントスルトキハ豫メ地方鑛山局ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第五十二條　採鑛特許證保持者ハ其ノ特許證面記載ノ地域內ニ於テノミ採鑛ヲ營ムコトヲ得

第五十三條　州又ハ縣ノ鑛山監督官ハ各種ノ鑛業作業ヲ監査スル權

限ヲ有シ又採鑛特許證保持者ニ對シ人民ノ安全維持ノ爲メ必要ト認ムル命令ヲ發スルコトヲ得

州又ハ縣鑛山監督官又ハ之ヨリ高キ官職ヲ有スル鑛山局職員ハ採鑛特許證保持者カ現ニ行フ採鑛作業ノ方法カ人民ノ生命財産ニ危害ヲ及ホス惧アリト認ムルトキハ當該特許證保持者ニ對シ右危險ヲ豫防スル爲メ作業方法ノ變更ヲ命令スルコトヲ得、而シテ當該特許證保持者カ右ノ命令ニ違ヒ完全ナル措置ヲ了スル迄採鑛作業ノ全部又ハ一部ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第五十四條　採鑛特許證保持者ハ(一)作業費出納簿(二)採鑛從業員其ノ他採鑛關係事務員簿(三)採鑛量、製煉量、賣却量、輸移出量ヲ記入スル帳簿ヲ設備スルコトヲ要ス、鑛山局職員ハ右ノ帳簿ヲ何

時ニテモ檢閲スルコトヲ得、而シテ中央鑛山局又ハ地方鑛山局カ右帳簿ノ寫ノ提出ヲ求メタルトキハ採鑛特許證保持者ハ直ニ之ヲ提出スルコトヲ要ス、本條ノ規定ニ違反セルモノハ八百錢以下ノ罰金ニ處ス

第五十五條　鑛山局ハ採鑛特許證保持者ニ對シ其ノ鑛區ノ明細地圖ヲ作成シ採鑛作業所ニ設備スルコトヲ命スル權限ヲ有ス、該地圖ハ左記規定ニ據リ作成スヘシ

(一)鑛區地圖ハ鑛山局ノ指定スル所ニ從ヒ二千分ノ一又ハ鑛山局カ適當ト認ムル夫レ以上ノ比例尺ニ依リ地上及地下ニ於ケル作業ノ程度ヲ示スモノナルコトヲ要シ少クトモ月一回其ノ作業ノ進捗ニ應シ地圖ノ訂正ヲナスコトヲ要ス、中央鑛山局又ハ地方

鑛山局カ該地圖又ハ其ノ寫本ヲ檢閲セントスルトキハ採鑛特許證保持者ハ直ニ該地圖又ハ其ノ寫本ヲ鑛山局ニ提出スルコトヲ要ス

(二)採鑛特許證カ無效トナリタルトキハ無效原因ノ如何ニ拘ラス該特許證保持者ハ其ノ無效トナリタル日ノ現在ノ採鑛作業ノ程度ヲ明示スヘキ本條規定ノ地圖ヲ地方鑛山局ニ提出スヘシ

本條規定ニ違反シタルモノハ八百錢以下ノ罰金ニ處ス

第五十六條　採鑛特許證保持者ハ其ノ鑛區ノ竪坑、横坑其ノ他ノ地下道カ人民ニ對スル危險ノ原因トナラサルヨウ善良ノ注意ヲ拂フヘシ、本項ニ規定スル危險ヲ發生セシメタルモノハ八百錢以下ノ罰金ニ處ス

州鑛山監督官、縣鑛山監督官又ハ之ヨリ上席ナル鑛山局職員ハ採鑛特許證保持者ニシテ竪坑横坑又ハ地下道カ人民ニ危險ヲ及ホス惧アル狀態ノ下ニ採掘ヲ行ヒ居ルモノアルコトヲ發見シタルトキハ直ニ當該特許證保持者ニ對シ其ノ危險防止ノ爲メ作業ノ變更ヲ命スルノ權限ヲ有ス、當該採鑛特許證保持者カ九十日間ヲ過クルモ作業ノ變更ヲナサザルトキハ法律ニ據リテ處罰シ採鑛特許證ハ之ヲ沒收スルコトヲ得

第五十七條　採鑛作業ノ際歴史的參考トナル「古物」又ハ異種鑛產物又ハ奇石ヲ採掘シタルトキハ凡テノ「古物」及ヒ鑛物又ハ奇石ノ見本ヲ夫レ等物件及採掘場所ノ說明報告書ト共ニ地方鑛山局ニ提出スルヲ要ス

第五十八條　採鑛セサル竪坑又ハ横坑ハ採鑛特許證保持者ニ於テ凡テ之ヲ圍柵ヲ以テ繞シ通行人ニ危害ヲ與ヘサランコトヲ要ス

第十章　水路

第五十九條　舟航、栽培、鑛業其ノ他各種ノ用途ニ供セラルル水路ノ管理ハ凡テ政府ノ權能ニ屬シ何人ニモ之ヲ分渡スルコトヲ得ス

第六十條　採鑛特許證保持者ハ其ノ鑛區内ノ水ヲ盡漑シ使用スルコトヲ得、但シ左ノ規定ニ準據スヘシ

(一)採鑛作業ノ目的ヲ以テ水ヲ堰止メ又ハ引水セントスルトキハ豫メ地方鑛山局ニ願出テ其ノ許可書ヲ得テ始メテ之ヲナスコトヲ得

(二)採鑛作業ヲ營ムモノ隣接地所有者ニ損害ヲ及ホスカ如キ狀態ニ水ヲ堰止メ引水シ又ハ水路ヲ變更スルコトヲ得ス、但シ豫メ中央鑛山局又ハ地方鑛山局ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限リニ非ス

(三)水、引水又ハ水路變更ニ依リ他人ニ損害ヲ及ホシタルトキハ右等水路ノ工事ニヨリ利益ヲ受クルモノ其ノ責任ヲ負フコトヲ要ス、但シ當該受益者ニシテ他ノモノカ責任ヲ負フヘキコトヲ立證スル十分ノ證據ヲ提示スル場合ハ此ノ限ニ非ス

(四)州鑛山監督官、縣鑛山監督官又ハ其上席ノ鑛山局職員ハ採鑛業者ノ强力ナル水力機械ヲ採鑛作業ニ使用スルコトカ他ノ採鑛業者ノ利益ヲ害スルモノト認ムルトキハ該機械ノ使用ヲ禁止ス

ル權限ヲ有ス

第六十一條　採鑛ヲ營ムモノニシテ他人ノ鑛區ニ於テ使用スル水路ヨリ灌漑シ引水セントスルトキハ豫メ地方鑛山局ニ願出ツヘシ州鑛山監督官又ハ縣鑛山監督官ハ各鑛區ニ適宜水ヲ分配スル命令ヲ發スル權限ヲ有シ右ノ命令ヲ受ケタルモノハ必ス之ニ從フコトヲ要ス但シ該命令ヲ文書ヲ以テ示達センコトヲ求ムルコトヲ得

第六十二條　採鑛ヲ營ムモノ本法第六十條及第六十一條ノ規定ニ據リ堰水引水ノ許可ヲ願出ツルニハ地圖ヲ添付スルコトヲ要ス、

該地圖ハ二千分ノ一ノ比例尺ニ依リ水源地引水經路ヲ明示シ又引水ノ方法ヲ說明スルコトヲ要ス

第六十三條　州鑛山監督官ハ縣鑛山監督官ハ他ノモノノ鑛區内ヲ通過スル水路開鑿許可證ヲ發給スル權限ヲ有ス但シ此ノ場合該水路開鑿許可ヲ願出テタルモノハ水路開鑿ニ對シ責任ヲ負ヒ該水路ノ通過スル鑛區ノ利益ヲ害スルコトナカラシムヘシ

第六十四條　引水シテ鑛物ノ洗滌ヲナシ鑛層、土砂又ハ採鑛ヨリ生スル廢棄物ヲ處分スルニハ左ノ規定制限ヲ遵守スヘシ

(一)鑛物洗滌及廢棄物處分ハ舟艙艦ノ航行スル運路又ハ農作物ヲ栽培シ又ハ人民ノ飲料水ヲ獲ル水路ニ於テ之ヲナスコトヲ得ス、本項ノ規定ニ違反シタルモノハ千六百錢以下ノ金額及ヒ本規定違反行爲繼續期間一日ニ付十五錢ノ罰金ニ處ス

(二)鑛物ノ洗滌又ハ廢棄物處分堆積ハ鑛物ノ境産スル場所、農耕地

ル　(四)　迄　要　(三)　伴　シ　州　金　千　及
ル　土　探　ト　州　了　顕　ニ　六　公
ト　砂　顕　認　顕　シ　山　廻　百　茶
キ　流　作　ム　山　タ　塩　ス　森　ノ
ハ　出　業　ル　塩　ル　官　以　通
候　シ　ノ　守　土　場　日　下　崎
令　本　守　砂　日　所　又　ノ　ニ
既　保　止　ノ　又　ニ　ハ　金　於
ニ　窮　ヲ　廻　ハ　拠　県　御　テ
顕　一　命　分　県　集　顕　及　之
山　以　ス　方　顕　堆　山　本　ヲ
両　及　ル　伝　山　積　盗　ヲ　規
カ　鴻　コ　ニ　塩　セ　官　ナ　定
十　二　ト　塩　官　シ　日　定　ス
分　頃　ヲ　ス　日　ム　ハ　通　コ
ナ　ノ　俸　ル　ハ　ル　陵　及　ト
ル　規　命　本　島　集　日　行　ヲ
廻　定　令　俸　嶋　メ　土　島　俸
分　ニ　ヲ　規　廻　砂　集　嶋　ス
ヲ　準　候　定　宜　ヲ　嶋　本　嶋
命　及　シ　ノ　命　他　一　用　頃
令　ス　右　元　令　ノ　日　準　ニ
シ　ル　方　金　ヲ　陵　ニ　及　及
採　モ　伝　ナ　陵　ニ　廻　シ　シ
鑛　ノ　ノ　ル　ス　廻　砂　十　タ
ヲ　ト　元　四　ル　砂　五　ル
営　認　了　用　コ　ヲ　森　モ　ル
ム　メ　ス　ニ　ト　探　ノ　ノ　モ
モ　ラ　ル　必　ヲ　堀　剥　ハ

モノカ該命令ニ據リ處分ヲナシタルモノト雖モ之ヲ以テ危險發生ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

(五)沖積鑛床ノ採鑛ノ場合ハ廢棄土砂ハ既ニ採鑛ヲ了シタル場所ニ堆積スルコトヲ妨ス、但シ將來ノ採鑛作業ニ不都合ナル場合ハ此ノ限リニ非ス

(六)本條各項ノ規定ニ違反シテ廢棄土砂ノ處分ヲナシタルモノハ之ヲ第一項規定ノ罰金刑ニ處スルノミナラス大臣ハ當該採鑛特許證ヲ没收スルコトヲ得

第六十五條　鑛毒内ニ有毒ナル鑛物又ハ植物アルトキハ採鑛特許證保持者ハ歇科又ハ農耕ニ利用スル水中ニ該鑛物又ハ植物カ流入シ人体又ハ農耕物ニ危害ヲ及ホスコトナカラシムル樣十分ナル注意ヲ

拂フコトヲ要ス、本條ノ規定ニ違反シタルモノハ千六百　及違反行爲ノ繼續スル期間一日ニ付十五錢ノ罰金ニ處ス

第十一章　道路

第六十六條　鑛區內ノ水上陸上ノ各公衆通路ハ法律ニ據リ公衆之ヲ使用スルコトヲ得

第六十七條　採鑛特許證保持者ハ鑛物又ハ他ノ採鑛作業ニ必要ナルモノヲ運搬スル爲メ其ノ鑛區內ニ道路ヲ築造スルコトヲ得、但シ該道路カ本法ニ據ル空地以外ノ場所ヲ通過スルモノナルトキハ豫メ該土地ノ所有者ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第六十八條　採鑛特許證保持者カ鑛物又ハ採鑛作業ニ必要ナルモノノ運搬ノ爲メニ其ノ鑛區外ニ道路ヲ築造セントスルトキハ豫メ「ウ

バラート」（副王）州總督又ハ縣知事等地方長官ニ願出テ許可ヲ得ルヲ要ス

第十二章　雜　則

第六十九條　採鑛特許證保持者カ其ノ許可ヲ受ケタル以外ノ鑛物ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ地方鑛山局ニ屆出ツヘシ、當該採鑛特許證保持者カ新ニ發見セル鑛物ノ採鑛ヲ營マントスルトキハ別ニ地方鑛山局ノ許可ヲ受クヘシ、本條ノ規定ニ違反スルモノハ八百錢以下ノ罰金ニ處ス

第七十條　政府ハ人民ノ有スル鑛區內ノ石、土砂ヲ官用ニ供セント欲スルトキハ自ラ之ヲ採掘シ又ハ他ノモノニ許可ヲ與ヘテ採掘セシムルコトヲ得、當該採鑛特許證保持者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第七十一條　鑛區內ニ於ケル伐木、燒炭、樹脂採取其ノ他林產物ノ採取ニ關シ政府ハ何人ニモ之ヲ許可スルコトヲ得、當該採鑛特許證保持者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第七十二條　鑛區內ノ土地ヲ警察署設立其ノ他ノ目的ノ爲メ官用ニ供シ又ハ鑛區內ノ道路及水路ヲ官用ニ供セントスルトキハ政府ハ自由ニ之ヲ使用スルコトヲ得當該採鑛特許證保持者ハ該土地カ未タ採鑛セラレサル土地ナルノ理由ヲ以テ之ヲ拒ミ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス、但シ官業ノ爲メニ當該特許證保持者カ私用家屋ヲ取壞スカ如キ實際上ノ損害ヲ受ケタルトキハ政府ハ適當ノ價格ヲ以テ之ヲ賠償ス、價格ニ關シ兩當事者間ノ議合ハサルトキハ裁判所ノ決定ニ遵フモノトス

第七十三條　何人モ公衆ノ使用スル道路及水路、人家、要塞又ハ陸海軍使用地附近ニ於テ採鑛又ハ探鑛ヲナスコトヲ得ス、但シ特ニ鑛山局ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限リニ非ス、本條ノ禁止巨離ハ左ノ通リ之ヲ定ム

(一)道路、水路、人家ヨリ二十「ワー」（一「ワー」ハ二米突）以内ノ場所ニ於テ採鑛ヲナスコトヲ得ス

(二)要塞又ハ陸海軍使用地ヨリ五百「ワー」以内ノ場所ニ於テ採鑛ヲナスコトヲ得ス

(三)鑛山局ハ本條禁止區域内ニ於テ採鑛スル特別許可ヲ與ヘテ差支ヘナキト認メタルトキハ該許可ニ關シ必要ナル規則制限ヲ定ムル權利ヲ有ス

本條ニ違反シタルモノハ之ヲ八百錢以下ノ金額及犯行繼續期間一日ニ付十五錢ノ罰金ニ處シ右違反行爲ニヨリ生シタル損害ヲ賠償セシム

第七十四條　本條ニ據ル空地ナラサル占有者アル土地ニ於テ鑛又ハ探鑛ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ規定ニ從フヘシ

(一)土地カ特許申請者自身ノ所有ニ屬スルモノナルトキハ願書ト共ニ土地ニ關スル地券其ノ他ノ證書ヲ提出スヘシ

(二)土地カ他人ノ所有ニ屬スルモノナルトキハ其ノ承認書ヲ願書ト共ニ提出スヘシ

第七十五條　大臣ハ現ニ鑛業ニ關係ヲ有セサル土地ヲ其ノ所有者ノ何人タルヲ論セス探鑛又ハ探鑛ノ目的ヲ以テ買收スルコトヲ得